

健康・生活

学校、ご家庭と
連携し、生活リ
ズム、心の健康
を確認



運動・感覚

作業療法士の感覚プ
ロフィール・DCDアセス
メントにより、支援プロ
グラムの作成、実施

認知・行動

標準化されたアセス
メントツールによる分
析をもとに、専門職
員による支援プログ
ラムの作成、実施

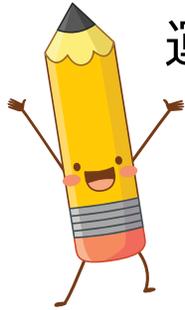
言語・
コミュニケーション

標準化されたアセスメ
ントツールによる分析
をもとに、専門職員に
よる支援プログラムの
作成、実施

人間関係・
社会性

標準化されたアセスメン
トツールによる分析をも
とに、専門職員による
支援プログラムの作成、
実施

事業所名	ぐりーん
作成年月日	2024年4月
法人理念	すべての人が生まれてきてよかったと 感じられる社会に 明日を楽しみに出来る毎日を
営業時間	【学習支援】 火曜～金曜 16:00～17:30 土曜日 10:00～11:30 14:30～16:00 【個別トレーニング】 火曜～金曜 14:20～15:00 15:20～16:00 16:30～17:10
送迎の有無	無し



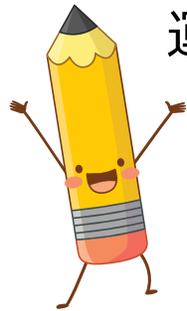
運動・感覚①

感覚統合

作業療法士による評価・プログラム

自分の体を使ったり、道具を使ったり、人とコミュニケーションを取ったりするには、「感覚統合」が上手くいっていることが必要です

個別の取組（感覚入力の方法（触り方、揺らし方など）を微妙に調節したり、関わり方を工夫したり）を通して、子どもが自分で「楽しい」「やってみたい」と思える活動でアプローチします

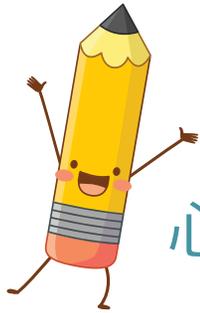


運動・感覚②

ビジョントレーニング・作業療法
作業療法士による評価・プログラム

視知覚認知機能を高めるビジョントレーニングを行います。物を目で捉える力や、目で見たいものを脳で処理し、体を動かす一連の作業にアプローチします

読む・書く作業（学習）に向かう前の眼球運動で、学習効率を高めます
運動、遊び、巧緻課題を通して姿勢や運動パターンの向上、手先の使い方などのトレーニングを行います



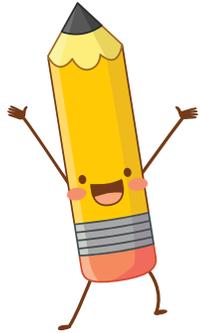
認知・行動①

認知：WISC,KABC- II 検査等の実施
心理職による標準化されたツールでのアセスメント

認知の偏りによる学び辛さのある児童、生徒を
対象に支援を行います

継次・同時処理の特性に合わせた学び方が出来るよう、また、読み書き、計算のつまずきの原因を見つけ、教材教具の工夫をし、分かりやすい方法を一緒に考え、自分で取り組めるようになることを目標にしています

※ぐりーん利用にあたっては、いずれかの検査を受けて頂きます。医療機関で実施した検査がある場合、参考にさせていただきます

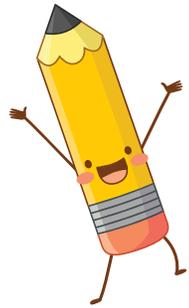


認知・行動②

行動：機能評価、ABC分析の実施
心理職による標準化されたツールでのアセスメント

行動動機スケールにより機能評価、行動の機能に応じた適切な対応（支援）が出来るよう、ABC分析やストラテジーシートによる整理を行い、支援を実施します

対面活動の苦手さが顕著な場合、1対1でのプログラムから始め、より学びやすい環境で個人スキルを高めるプログラムを実施します

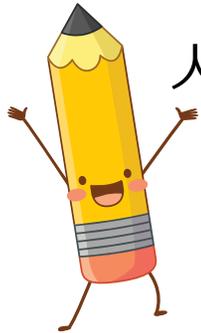


言語・コミュニケーション（言語リテラシー・表出コミュニケーション）

LCSA, KABC-II 等、標準化されたアセスメントによる評価の下、支援プログラムを実施
心理職による評価、プログラム

個々に合わせた表出コミュニケーションの獲得が基本支援となります。また、“言葉が出ている”だけでなく、使いこなす言葉以外のコミュニケーション手段（PECS等）を含め、伝える、伝わる経験を大切にした支援プログラムを実施します

表出コミュニケーション成功の場になるよう、表出の基礎の獲得には、1対1の対面支援を実施します



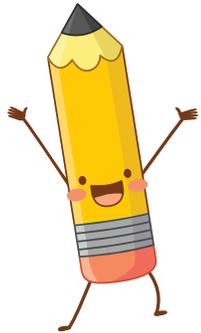
人間関係・社会性（コミュニケーション）

S-M社会生活能力検査、Vineland-Ⅱ等
標準化されたツールでのアセスメント実施

相談支援員と連携し、社会性のスキル評価を
出します

個々のスキルアップが求められる領域のため、
複数領域でのスキル評価を出し、優位に苦手
さが見られる領域を対象にした支援を実施し
ます

個別や小グループでのSST、コグトレや実行
機能プログラムで、社会で活躍するための力
のスキルアップを目指します

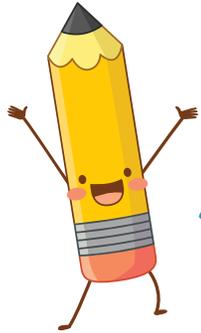


健康・生活

家庭・学校・相談支援員等と連携します

毎日の生活リズムの把握や、母集団の中での
本人の姿を定期的に確認します
心も身体も健康に過ごせるよう、毎回の支援
時に必要な健康チェックを行います

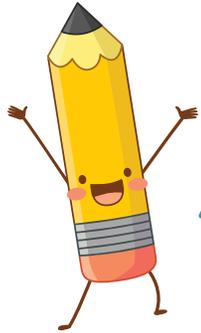
家庭や学校等との情報共有を行うことで、変
調への早めの気づきに繋げ、二次的な障害が
起きないように予防的支援に繋がります



地域連携

保育所等訪問支援にて、園に訪問をします

保育所等訪問支援にて、学校に訪問をし困っている事、頑張れている事、もっとこうなると良いなという思いを見つけます。
お子さんがどんな工夫で「できる」ようになるかだけでなく、環境にもアプローチをして、その内容を先生や保護者と情報共有して過ごしやすい環境・時間作りを目指します。



個別トレーニング

担当職員と1対1で行うプログラムになります。個別支援にて、感覚入力の調整やか関わり方の工夫をして、子どもが自分で「楽しい」「やってみたい」と思える活動でアプローチを行います。

職員向け研修

外部研修の参加
事業所内研修の実施

主な行事

避難訓練、防災訓練の実施
学校と情報共有し、（訪問・電話）等
実施をします

移行支援

- ・ 訪問や電話で学校と連携を図ります
- ・ 学校保護者への情報共有を行います
- ・ 実行機能等へのアプローチによる
社会性のアップを目指します
- ・ 各学年、発達に合わせた取り組みを
行います

家族支援

学校や生活での困り感を保護者から
聞き取り助言等を行います